

# 高い防災力

## 市

内には、2つの陸上自衛隊の駐屯地と1つの航空自衛隊の基地があり、約9,500人の隊員が国防を担っています。

自衛隊と市は、60年間にわたる共存関係で地域支援なども含めた良好な関係を築いています。

もし、災害が発生したとき、自衛隊は強力な救助や支援活動を行い、市民の安全と安心を守る心強い存在になります。

また、24時間体制で災害に備える消防や防災学習交流施設などの充実した防災設備と、市民の防災意識の高さも、まちの防災力を高めています。

## 「職住近接」のまち

## 東

日本大震災の発生時、首都圏などでは交通機関がストップし、家に帰れない「帰宅困難者」がたくさんいました。

千歳は住宅地と工業団地の距離が近い「職住近接」のまちです。市内で働く方の75%は市内に居住しており、災害時に交通手段がなくなっても、徒歩により1時間から1時間30分ほどで帰宅することが可能です。

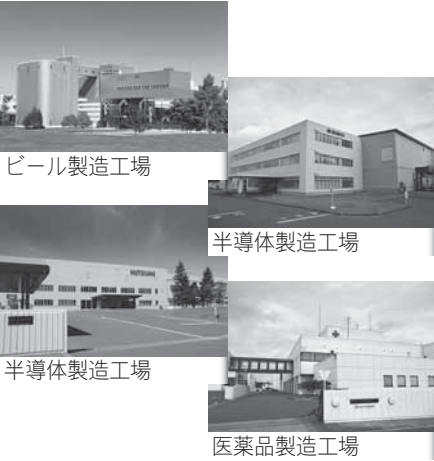


図4：主な都市の月気温 (平成18~22年の平均)

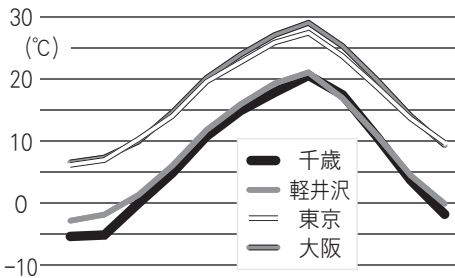


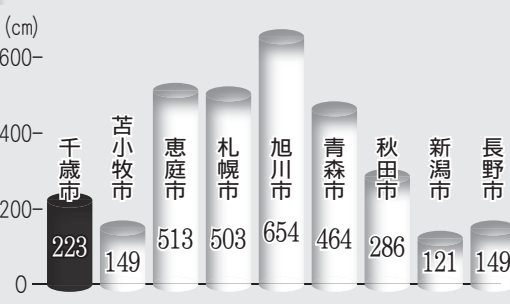
図5：札幌と東京の年間空調費用 (1万㎡規模の工場の試算例)



## 実は少ない!? 千歳の雪

関東や関西の方には、「雪」と聞くとマイナスの印象を持つ方もいますが、千歳は道内でも比較的雪が少ない地域で、降雪量は札幌や恵庭、青森などの半分以下です。また、「飛行機の離発着は天候の影響を受けやすい」といわれますが、新千歳空港の就航率(98.5%：平成21年)は、ほかの国内主要空港とほぼ同じ数字で、降雪による影響はほとんどありません。

図6：主な都市の年間降雪量(平成18~22年の平均)



調冷房に使う装置(左写真)を備えており、雪はクリーンエネルギーとして積極的に利用されています。



## 千歳の魅力

# 2

## 美しい水、冷涼な気候 めぐまれた自然資源



sales point

## 環

境省の湖沼水質ランキングで3年連続全国1位に輝いた支笏湖、日量で6,000万リットルの湧出量を誇り、国の「名水百選」や「おいしい水」

に選ばれたナイベツ川湧水を主な水源とする上水道、良質で水温が低く豊富な地下水などの水資源は魅力の一つです。千歳は、上下水道を合わせた水道料金が道内の市で最も安価になっています。

たくさんきれいな水を必要とする食品・飲料製造業、医薬品製造業、電子部品・半導体製造業の工場が市内に複数立地していることは、水資源の豊かさと質の高さを実証しています。

## 全

国的な避暑地として有名な長野県軽井沢町。図4のとおり、千歳の気温は年間を通して軽井沢とほぼ同じです。

梅雨がなく、さわやかで過ごしやすい気候が特徴の千歳に、夏は関東や関西から避暑に来られる方がいます。この冷涼な気候は、企業にとっても大きな利点になります。冬季の暖房費用がかさむことを考えても、年間の空調にかかる費用は東京と比べて約3割少なく済み(図5)。

また、市内には冷涼な外気や雪を利用した空調冷房を採用している企業もあります。新千歳空港ターミナルビルや立地企業の一部では、雪を空

## さわやかな気候